

<特集補遺「受動表現」>

ラオ語における受動表現 Passive Forms in Lao

片井 萌子
Moeko Katai

東京外国語大学大学院総合国際学研究所
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は特集「受動表現」(『語学研究所論集』第14号, 2009, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は、12個のアンケート項目に対するラオ語データを与えることである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic studies on 'Passive Forms'(Journal of the Institute of Language Research 14, 2009, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this report is to offer the Lao data for the question of 12 phrases.

キーワード: ラオ語、受動表現、被害

Keywords: Laotian, Passive Form, Adversity

1. はじめに

本稿はラオ語の受身表現について、アンケートに従い、収集したデータを記述したものである。インフォーマントはH.S氏(ビエンチャン首都区出身、1995年生まれ)にご協力いただいた。インフォーマントは2015年から2016年までの一年間と、2018年から現在にかけて日本に在住している。母語は標準とされる首都ビエンチャンで話されるラオ語である。

本稿の音韻表記は鈴木(2003)に依拠する。また、日本語文に対応するラオ語文が複数認められる場合がある。そのような場合には、それぞれの文の特徴について記述する。

2. 言語データ

1. AはBに叩かれた。(直接受身)

1) A thùuk B tĩ
 PASS hit

2. AはBに足を踏まれた。(持ち主の受身、体の部分)

2) A thùuk B yiap tĩn
 PASS step.on foot

3. AはBに財布を盗まれた。(持ち主の受身、持ち物)

3) A thùuk B lak kapǎw nǎn
 PASS steal bag money



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

ラオ語の受身表現としては/thùuk/文が挙げられる。従来、/thùuk/が用いられる場合には被害のニュアンスが含意するとされてきた¹。しかし、その性質に適合しない thùuk 文も本調査の中で認められる(詳しくは後述する)。その点から、例文 1)~3)は被害のニュアンスを含む、典型的な thùuk 文であるといえる。

4. 昨日の夜、私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。(自動詞からの間接受身)

4) khúunwáanníi, dék nōy hày say khòy, kalóy nón
 last.night child small cry put.in 1SG CONJ.therefor sleep
 bōo dáy
 NEG POS

4') khòy thùuk dék nōy hày say, kalóy nón bōo
 1 PASS child small cry put.in CONJ.therefor sleep NEG
 dáy
 POS

この日本語文に対してインフォーマントは二つのラオ語文を挙げた。4)は/thùuk/を用いてない文、4')は/thùuk/を用いた文である。インフォーマントによれば、どちらも使うが、4)の方がより自然であるとのことである。理由としては、/hày/「泣く」という動作の行為者が/dék nōy/「赤ん坊」であることが挙げられる。「赤ん坊」が「泣く」という事態は当然のこととして捉えられるため、被害のニュアンスを含む/thùuk/は用いられにくい。仮に「赤ん坊」が「友人」などであれば、4')も 4)と同じくらい自然に使われるとのことである。

5. 新しいビルが (A によって) 建てられた。(モノ主語受身、一回的)

5) túk may dáy thùuk sàŋ khùn (dōoy A)
 Building new ACHV PASS build DIR.up (by A)

3)以下で述べたように、従来 thùuk 文は被害のニュアンスがある場合に用いられるとされてきた。しかし、5)は被害のニュアンスをもたない文である。/~thùuk sàŋ/「～が建てられる」という形はインフォーマントによると、一般的に使われる形である。ただし、少し文語的な言い回しになるとのことである。

6. カナダではフランス語が話されている。(モノ主語受身、恒常的。動作主が問題にならない場合)

6) pháasǎa faləŋ dáy thùuk námsây yuu náy kháanádǎa
 language France ACHV PASS use PREP.at in Canada

7. 財布が (A に) 盗まれた。(モノ主語受身、モノ主語の背後に被影響者が想定される)

7) kapǎw ḡón thùuk (A) lak
 bag money PASS steal

¹ 三上 (1989)、鈴木 (2010) を参照

8. 壁に絵が掛けられている。(モノ主語受身、結果状態の叙述)

8) hûup dây thùuuk tít yuu făaphanǎŋ
 Picture ACHV PASS attach on wall

8') yuu făaphanǎŋ míi hûup tít yuu
 on wall have picture attach CONT

日本語文 8.に対してインフォーマントは、/thùuuk/を用いたラオ語文 8)と、用いない 8')を挙げた。これらは、前提条件によって使い分けられる。まず、8)を使う場合、/hûup/「絵」というのは特定の絵を指している。つまり、既に話題に挙がっている「絵」について述べる場合である。一方、8')は情景描写として、壁に絵がかかっていることを述べている。

9. A は B に／から愛されている。(感情述語の受身、特に動作主のマーカ―に注目)

9) B hak A
 love

日本語文 9.を/thùuuk/を用いた文で表現することはできない。9)のように能動文を用いるのが一般的である。

10. A は B に／から「...」と言われた。(伝達動詞の受身、特に動作主のマーカ―に注目)

10) A thùuuk B wâw hây waa 「...」
 PASS speak give COMP

10-a A さんは B さんに呼ばれて、今 B さんの部屋に行っています。

11) A thùuuk B ʔəən (pây hǎa), ďǎawnńi yuu hòŋ B
 PASS call go see now exist room

11)は/thùuuk/を用いた文であるが、被害のニュアンスはもたない。

10-b B さんが A さんと呼んで、A さんは今 B さんの部屋に行っています。

12) B ʔəən A (pây hǎa), ďǎawnńi A yuu hòŋ B
 call go see now exist room

3. おわりに

以上が今回収集した、ラオ語の受動表現のデータである。

参考文献

Kerr, Allen D. (1972) "LAO-ENGLISH DICTIONARY" WHITE LOTUS, BANGKOK

鈴木玲子(2003) 「ラオ語の「行く・来る」」『東南アジア大陸部諸言語の「行く・来る」』慶應義塾大学言語文化研究所

鈴木玲子(2010) 『ニューエクスプレス ラオス語』 白水社
三上直光(1989) 「インドシナ諸言語におけるいわゆる受動動詞について」 藝文研究. Vol.54,
p.360(57)-380(37) 慶應義塾大学藝文学会

執筆者連絡先: general.goose1995@gmail.com

原稿受理: 2019年12月20日